哀しい気分でジョーク (1985)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 108分

初公開日 1985/04/26

【解説】

吉田剛のオリジナル脚本を瀬川昌治が監督したヒューマン・ドラマで、ビートたけしの初主演映画。劇中歌として流れる「グリーングリーン」が涙を誘う。

人気コメディアン五十嵐洋はテレビやラジオに引っぱりだこで、一人息子の健の世話はマネージャーの善平に任せきりだった。だが健が脳幹部腫瘍に冒されており、余命数ヶ月と診断されてしまう。妻に逃げられ息子と二人暮らしだった洋は、その日を境に仕事の量をセーブし、できるだけ健と二人の時間を増やすことにした。だが健のことが気になり仕事に打ち込むことができず、洋のコメディアンとしての評判は落ちていく一方だった。さらに美人局に引っかけ大金を巻き上げられてしまう始末。洋は別れた妻のいるオーストラリアへ健を連れて行くのだが…。

【クレジット】

監督	瀬川昌治	
プロデューサー	佐々木孟	
脚本	吉田剛	
撮影	坂本典隆	
美術	猪俣邦弘	
編集	太田和夫	
音楽	いずみたく	
主題歌	ビートたけし Beat Takeshi	
助監督	福島孔道	
出演	ビートたけし Beat Takeshi	五十嵐洋
	中井貴恵	香宮悠子
	柳沢慎吾	谷善平
	石倉三郎	佐川六助
	川辺太一朗	五十嵐健
	木内みどり	リヨ子
	ポール牧 Paul Maki	コメディの相手役
	鈴木ヒロミツ	クイズ番組の司会者
	うつみ宮土理	クイズ番組の司会者
	菅井さん	小学校の女教師
	大谷直子	秋野美枝